

香ヶ丘リベルテ高等学校 学校関係者評価報告書

1. 実施状況

日時 平成30年10月24日(水) 午後3時00分から

場所 愛泉学園 会議室

2. 委員会構成

堺リベラル中学校校長	1名
挹泉会(同窓会)会長	1名
愛泉学園評議員	5名
愛泉学園監事	2名
堺女子短期大学特任教授	1名
香ヶ丘リベルテ高等学校元副校長	1名
本校関係者	1名

3. 評価・提言

(1) 特色授業や行事を通して専門性を高める

「ダンス」「楽器・ボーカル」「演技・声優」の表現科目や、「スピーチ」「ディベート」「プレゼンテーション」などの言語表現法を学習することにより、自己表現力・コミュニケーション力が高まり、生徒が自信を持って授業に取り組んでいるので、今後も継続していただきたい。

「ショップコーディネーター」「チャイルドヘアメイク」「キッズイングリッシュ」「保育理論」などの専門的な授業で知識の習得に関する達成度が低いので、生徒の知識や技術習得の達成度を高める対策として人材の育成が必要ではないか。模擬授業やロールプレイを取り入れ相互評価をすることが、教員の能力や教育力を高めることにつながるのではないか。

(2) 個々に応じた学習環境の整備と自分の目指す進路の実現

勉強塾での取り組みが学力向上につながり、希望する進路に多数の生徒が進学しているので、今後も継続していただきたい。

「つまずき0プロジェクト」「0限目授業」「朝漢」「寺小屋」「イングリッシュカフェ」などの学力向上につながる個々に応じた学習環境を整備し目標数値は超えたが、次年度も達成できるよう継続していただきたい。教員の授業に対する思いをもっと伝えていければ、生徒の意識にも変化が現れるのではないか。

(3) 身だしなみ・マナー指導による女子教育

「リベルテマナー」(社会生活3つの基本)として「挨拶・返事・言葉遣い」を大切にしている取り組みにより、生徒のマナー意識が年々向上してきているので継続していただきたい。

身だしなみ指導として、頭髪・服装指導を徹底され制服の正しい着用により、年々学校のイメージが良くなっている。